



ほけんだより

2022 年度 No. 4
聖星保育園

7月に入る前の梅雨明けに驚きとともに、身体が慣れる前に連日の30℃前後の暑さ、熱中症の心配をするご家庭も多いことと思います。6月中は発熱や咳・後半に入ると下痢症状でお休みするお子さまが多くいました。RSウイルス感染症の症状に似たヒトメタニ、ユーモウイルスに感染したお子さまもいます。この感染症は登園届はいらず、普通の風邪と同じ扱いになり検査をしない病院も多いです。熱や咳症状が落ち着いたら登園しましょう。

7月は暑さ対策をしつつ、夏ならではの遊びをたくさん満喫したいと思いますので、体調を整えていきましょう。



【6/1~6/28現在】

RSウイルス感染症 幼児1名
ウイルス性胃腸炎 乳児1名



～前期の内科健診・歯科健診が終了しました～

受診の勧めがあったご家庭は早目に通院をしましょう。

歯科の金子医師より「前に虫歯があった子どもは、しっかり治療をしている。そして、以前に比べて虫歯がある子どもが減ってきている。普段からの歯磨き、虫歯がなくても定期的に歯科に通うことなどの日常の積み重ねが虫歯予防につながっています。」とお言葉をいただきました。

いよいよ待ちに待った水遊びシーズンです！

安全に水遊びを楽しむために、登園前には次のことをチェックしましょう

★下記の症状がある場合は水遊びを控えましょう

- ☆熱がいつもより高めである
- ☆いつもより元気がない
- ☆鼻水や咳、のどの痛みなどの風邪症状がある
- ☆お腹が痛い、便がゆるい
- ☆目の充血や目やにがみられる
- ☆耳が痛い、耳だれが出る
- ☆皮膚にとびひや膿んだ傷がある
- ☆保護者からみて何となくいつもと違う、体調が悪くなるような予感がする

★元気に水遊びを楽しむために 心がけましょう

- ☆十分な睡眠をとりましょう
- ☆朝ごはんをしっかり食べましょう
- ☆手足の爪は短く切りましょう
- ☆体や頭髪の清潔を心がけましょう



プールや水遊びカードがOKでもその日の園児の体調をみて、園判断で大事をとって入らないこともあります。体調の悪化、事故を防ぐことにもつながっていきますので、ご了承ください。

夏に多い感染



ウイルス感染によって起こる病気です。お友だちへの感染力も強いので、必ず受診をして医師の診断を受けましょう。

疾患名	症状	感染しやすい期間	登園の目安
★ヘルパンギーナ 【エンテロウイルス】	突然の高熱と喉の痛み、口の中の水疱、口内炎が特徴です	急性期の数日間（便の中に1ヶ月程度ウイルスを排出しているので注意）	発熱や水疱・潰瘍の影響がなく、普段の食事が摂れること
★手足口病 【エンテロウイルス】	手のひら、足の裏、口の中に水疱ができ、発熱することもあります	手足や口腔内に水疱・潰瘍が発症した数週間	発熱や水疱・潰瘍の影響がなく、普段の食事が摂れること
◎プール熱（咽頭結膜熱） 【アデノウイルス】	高熱が3~5日続き、喉の痛み、目の充血やかゆみなどの結膜炎のような症状	発熱・充血等の症状が出現した数日間	発熱・充血等の主な症状が消失してから2日経過していること
◎流行性角結膜炎 【アデノウイルス】	目が腫れ、充血、普段よりも多くの目やにや涙がでます	充血・目やに等の症状が出現した数日間	結膜炎の症状が消失していること

☆→医師の診断を受け、登園届（保護者記入）が必要な感染症 ◎→意見書（医師記入）が必要な感染症

猛暑からこどもを守りましょう！

子どもは体温調節機能が未発達で十分に放熱できず、厳しい暑さのなかでは体温が上昇しやすくなります。大人よりも体力を奪われやすく脱水・熱中症になりやすいので十分注意が必要です。

夏の水分補給

暑い日は喉が渴いてから飲むのではなく、こまめに水分を摂取しましょう。熱中症が疑われ、水分がとれる状態の時はお茶や水よりも、経口補水液やスポーツドリンクなど塩分（ナトリウム）の入ったものを積極的に摂りましょう。水分も取れないくらいぐったりしている場合は、早急に病院に連れていきましょう。特に子どもは声掛けだけではなく、飲めているかを確認しましょう。



チャイルドシート

車内はエアコンが効いて涼しくてもチャイルドシートは熱がこもっています。車の方向が変わると、窓際は日向になることもあります。子どもの背中を触ってみてください。安全を考慮しながら体温調節や適度な休憩をとりましょう。



夏におこりやすいやけど

公園の遊具・アスファルト・マンホールの蓋・車体など60~80℃の高温になることがあります。子どもの皮膚は大人より薄いため、大人と比べてより低い温度でより早く、より深いやけどになりやすいので、注意が必要です。



ベビーカーや外歩き

ベビーカーに乗っている子どもや小さな子供は地面に近い位置にいるので、体温は大人より2~3℃高いといわれています。暑い日は日陰や時間を選び短時間にしましょう。

